合理的配慮の不提供事例

視覚

　・配布された資料が、墨字資料のみで、何が書いてあるか分からない。

　・音声互換ソフトを職場のパソコンに入れているが、メール等に添付されてくるものがＰＤＦ形式のために読み取れない。

　・会議の説明が、パワーポイントの説明だけで、何が説明されているか分からない。

　・「あと○○歩」とか「６時の方向に何がある」という具体的な指示がないため、物の位置が把握できない。

聴覚

　・会議や面接などで、口頭だけの説明であったため、全く理解できなかった。

　・手話通訳が用意されていない。

　・要約筆記が用意されていない。

　・コミュニケーションボードがない。

言語

　・十分な時間を取ってくれないので、説明が伝えられなかった。途中で発言を打ち切られた。

　・急かされたため、余計に発話が難しくなり、うまく説明ができなかった。

　・窓口配置となり、お客さんを怒らせてしまった。

肢体

・研修会などを、階段でしか行けない会場で行う。

・汎用コピー機のため、操作できない。

・プリンターまでの距離が遠く、また、床に配線があり印刷物が取りにいけない。

・高いところに書類があるので、取ることができない。

・上肢障害専用のＯＡ機器がないため、操作できない。

・シフトキーが操作できない。

内部・難病等

　・休憩時間を十分に取らせてもらえないので、体調が悪化した。

　・透析等のための特別休暇がないため、欠勤扱いとなった。

知的

・早口で難しい言葉を使われたので、指示の内容が分からなかった。

・コミュニケーションボードを活用したり、図示したりしてくれないから、仕事の手順がよく分からなかった。

精神

　・ 症状に波があることを上司が理解してくれないので、調子が悪いときに何もできず、叱責された。

　・ 休憩時間を十分に取らせてもらえないので疲労した。症状が悪化した。

　・特別休暇がないため、欠勤扱いとなった。

発達等

　・自分の資料に総ルビをふってくれないので、何が書いてあるか理解できない。

　・手順やパターン（へのこだわりを理解してくれないので）が変わってしまい、全く仕事ができなかった。

　・職場の物の配置が変わって、何もできなくなった。